

学年	中学1年	教科	家庭科	科目	技術・家庭	単位数	2
教科書名	技術・家庭 家庭科 (開隆堂)			副教材名			
クラス・コース	中高一貫			担当者名	小峰 とも子		

## I. 目標

生活に必要な知識・技術の習得を通して進んで生活をよりよくする能力と実践的な態度を育てる。

## II. 授業のねらい

家族・家庭、衣服、食などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。

学習した知識や技術を生かして、生活課題を主体的に解決する態度と実践的に生活を充実させようとする態度を育成する。

## III. 授業の進め方

- 1.教科書の内容を中心に授業を展開する。
- 2.プリント・課題、実習を行い、知識・技術の定着を図る。

## IV. 学習上の留意点

- 1.衣服の役割などについて考えさ、実際に生地を使い製作に取り組む。
- 2.中学生に必要な栄養・食事について考えさせる。
- 3.普段の生活と関連づけて考えさせる。

## V. 定期試験

- 1 学期期末試験「調理・製作」について
  - 2 学期期末試験「衣服のはたらき・幼児」について
  - 3 学期期末試験「食生活」について
- ※各学期期末試験（教科書・プリント・授業の内容を中心に出题する。）

## VI. 評価の方法

- 1.定期試験
- 2.提出物の提出状況と内容
- 3.授業や実習・制作活動への意欲的に取り組む姿勢

## VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	調理の基本	意欲・態度 提出物 (プリントなど) 作品	安全や衛生に注意し、調理器具、調理の基本を習得する。  基本の手縫い、及びミシンの使い方を習得する。
	5	製作(基礎縫い・ミシンを使ったものづくり)		
	6			
	7			
二学期	9	衣服のはたらき 自分らしく目的に合わせた着方 衣服の素材 衣生活の管理 環境に配慮した衣生活	意欲・態度 提出物 (プリントなど) 作品	衣服の社会生活上のはたらきを理解する。 目的にあった服装について考えることができる。 衣服の正しい表示の見方や選択のしかたがわかる。  幼児の体と心の発達の特徴を知る。
	10	『幼児と高齢者』 幼児の体と心の発達		
	11	調理実習		
	12			
三学期	1	『食生活』 食事について考える 生活のリズムと食事	意欲・態度 提出物 (プリントなど)	自分の食生活に関心をもつようにする。  健康と栄養のバランスを考えた食事とかかわりについて理解する。
	2	栄養素のはたらきと食品 中学生に必要な栄養 食事摂取基準 調理実習		
	3			

※ シラバスの内容(時間や事項)については、理解度やその他の都合により変更することもあります。